

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

実施自治体名	課題の 類型1	課題の 類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、 令和7年度における取組の評価・分析を 踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値
06401小国町	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	・依然として少子高齢化や地域とのつながりが希薄化している中で、学校での教育のみならず、家庭や地域住民等が相互に連携・協働して、地域全体で子ども達を育てていくことが求められている。 ・現在協力していただいている地域住民によるボランティアの人数が固定化傾向にあることに加え、高齢化によるリタイヤに対する人材補充が伴っていない。	地域学校協働本部が中心となり、町民総がかりの教育構想の体制を構築し、地域にねざした学校づくりをさらに推進するため、PTA活動と地域学校協働活動の融合をテーマとした研修会を学校運営協議会、PTA、教師向けに開催し、白い森子ども応援隊の一員としてのPTA活動の推進について、より一層の理解を得ると共に参画を促す。	学校パートナー、放課後子ども教室ボランティア、白い森学習支援センター関係ボランティアなどに加え、小国町PTA連絡協議会との連携をさらに深め、地域学校協働活動の一環である白い森子ども応援隊への保護者の理解を一層推進することにより、PTAからの参加促進を図る。このことにより、家庭からも子どもたちの自発的意識を育て、さらなる活動の定着化と、意識向上の継続を目指す。	地域がまるごと子ども育成サポーターとなる白い森子ども応援隊への理解と参画を進め、新規ボランティア人材を増加させることにより、地域に溶け込んだ活動の中で、児童生徒との協働活動により理解を深め、多様な支援活動としての輪を広げる。	・新たな学校支援ボランティアの人数を増やす取組みの中で、子ども達と協働で行う「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う児童生徒の割合」(全国学力学習状況調査における児童生徒質問紙より)	84	%	85